

サンプル

1

インドネシア語 |
「とげまみれ」

以下にインドネシア語の単語とその日本語訳があります。

jalan	道
berjalan	歩く
berkeringat	汗をかく
keringatan	汗びっしょり
nafas	息
duri	とげ

Q1 keringat を日本語に訳してください。

Q2 以下をインドネシア語に訳してください。

息をする

とげまみれ

▶ 解答は5ページ

◆インドネシア語はオーストロネシア語族に属すマレー語の一種である。マレー語はマレーシア、インドネシアなどで約 8220 万人に使用されている。母語話者人口は 15 位である。

サンプル

2

ワルピリ語 |
「走るカンガルー」

以下にワルピリ語の文とその日本語訳があります。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. Kurdu ka wangkami. | 子どもが話す。 |
| 2. Kurdungku ka marlu yampimi. | 子どもがカンガルーを放っておく。 |
| 3. Kirda kula wangkaja. | 父が話さなかった。 |
| 4. Karnta kulaka parnkami. | 女が走らない。 |
| 5. Kirdangu kurdu yampija. | 父が子どもを放っておいた。 |

Q1 「子ども」を意味する語を答えてください。

Q2 以下を日本語に訳してください。

6. Marlu parnkaja.

7. Karntangu kula kirda yampija.

Q3 以下をワルピリ語に訳してください。

8. カンガルーが子どもを放っておかない。

▶ 解答は6ページ

◆ワルピリ語はパマ・ニュンガン語族ンガルキック諸語に属す。オーストラリアのノーザンテリトリーで約 2300 人に使用されている。rt, rd, rn, rl はそれぞれ t, d, n, l をもう少し後ろ寄りに舌をつけて出す音である。

リヴォニア語 | 「神に祈る日曜日」



リヴォニア語で kīņdōlpāva は、「^{せいしよくさい}聖燭祭」という、イエスが誕生から 40 日経って神殿に捧げられたことを記念するキリスト教の祝日のことです。この日には一年分のろうそくを清めてもらう祝福式が行われます。

- | | | |
|-------------------|---|-----------------------|
| 1. jālga | • | a. 足 |
| 2. jālgalē'd | • | b. 家 |
| 3. kā'dkiela | • | c. イワミツバ [※] |
| 4. kā'drōntōz | • | d. 腕時計 |
| 5. kīņdōljālga | • | e. 教会の鐘 |
| 6. kuodā | • | f. 燭台、ろうそく立て |
| 7. pāvalē'd | • | g. 日刊新聞 |
| 8. pāvarōntōz | • | h. 手引き、ハンドブック |
| 9. pivākuodākiela | • | i. 日曜日 |
| 10. pivāpāva | • | j. 日記帳 |

※イワミツバはセリ科の多年草で、葉は形がヤギの足に似ており痛風に効く。

Q1 1-10 のリヴォニア語の訳を a-j から選んでください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1. _____ | 2. _____ | 3. _____ | 4. _____ | 5. _____ |
| 6. _____ | 7. _____ | 8. _____ | 9. _____ | 10. _____ |

Q2 以下をリヴォニア語に訳してください。

ヒント：以下のうち、2 つはリヴォニア語訳が同じ表現になります。

- | | |
|---------|-----------|
| 本 _____ | 聖なる _____ |
| 葉 _____ | 新聞 _____ |

▶ 解答は 8 ページ

✧ リヴォニア語はウラル語族フィン・ウゴル語派バルト・フィン諸語に属す。ラトビアで話されていたが、現在母語話者はいない。

✧ ä, õ, ō は母音。d, ņ は子音。記号 ˉ は長母音を表す。第一音節で 2 つのトーン（平板・下降）が区別され、記号 ˊ は下降調を表す。

サンプル

4

アラビア語 |

「ゼロ・シュガー・コーヒー」

以下、左にはアラビア語の発音表記と日本語訳、右にはそのどれかに対応するアラビア文字があります。

- | | | |
|-------------------|---|----------|
| 1. kuḥl 輝安鉱 | • | a. جبر |
| 2. jabr 再結合 | • | b. قلي |
| 3. qily 灰 | • | c. كحل |
| 4. 'awār 損傷 | • | d. سكر |
| 5. qahwa コーヒー | • | e. شراب |
| 6. laymūn レモン | • | f. صفر |
| 7. maḵāzin 倉庫(複数) | • | g. عوار |
| 8. šarāb 飲み物 | • | h. قهوة |
| 9. sukkar 砂糖 | • | i. ليمون |
| 10. ṣifr ゼロ | • | j. مخازن |

Q 上記のアラビア語に対応するアラビア文字表記を選択肢 a-j から選んでください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1. _____ | 2. _____ | 3. _____ | 4. _____ | 5. _____ |
| 6. _____ | 7. _____ | 8. _____ | 9. _____ | 10. _____ |

▶ 解答は10ページ

◆アラビア語はアフロ・アジア語族セム語派に属す。サウジアラビアなどで約3億6200万人に使用されている。母語話者人口は4位である。

◆母音の上の ˘ はその母音が長いことを示す。ḥ, q, ' , ḵ, š, ṣ は子音。

初級レベル | 解答と解説

サンプル 1 | インドネシア語 | 「とげまみれ」

解答

Q1 汗

Q2 息をする = bernafas とげまみれ = durian

■ 考え方

ここで使われている単語はいくつかのパーツに分解できる。表の形に整理する。

シンプルな形	ber- なんとか	なんとか -an
jalan 道	berjalan 歩く	
	berkeringat 汗をかく	keringatan 汗びっしょり
nafas 息		
duri とげ		

Q1 を解く。keringat は ber**keringat**「汗をかく」、**keringatan**「汗びっしょり」から ber-, -an を取った形だ。共通する意味を考えると、keringat = 「汗」。

Q2 を解く。与えられたデータから「息をする」「とげまみれ」が表現できるはずだ。ここで ber- と -an がどういうはたらきをしているのか考えてみる。

ber + jalan 「道」→ berjalan 「歩く」

ber + keringat 「汗」→ berkeringat 「汗をかく」

ber- はほかの単語の前についてそれに関連する動詞を作るようだ。したがって、ber + nafas 「息」→ bernafas 「息をする」。

-an のほうも考える。

keringat 「汗」+ an → keringatan 「汗びっしょり」

こちらはほかの単語の後ろについて「～だらけ」という意味の単語を作るようだ。したがって、duri 「とげ」+ an → durian 「とげまみれ」。

▶ マメ知識

durian「とげまみれ」はとげだらけの果物であるドリアンのことを指す。毛がいっぱい生えた果物であるランブータンは rambut「毛」+ anだ。また, jalan「道」は旅行雑誌『じゃらん』の名前の由来になっている。

中級レベル | 解答と解説

サンプル 2 ワルピリ語 | 「走るカンガルー」

解答

Q1 kurdu

Q2 6. カンガルーが走った。 7. 女が父を放っておかなかった。

Q3 Marlunku kulaka kurdu yampimi.

■ 考え方

まずは語彙を対応させる。「子ども」は文 1, 2, 5 に 1 回ずつ出てきているので, ワルピリ語の kurdu に対応する(ただし文 2 では kurdu-ngku と他の部品がついた形)。同様に文 3, 5 から kirda = 「父」。-ngku は文 2, 5 のように, 文中に目的語「～を」がある場合, つまり動詞が他動詞の場合に, 主語につくようだ(⇒マメ知識参照)。

動詞のほうを見ると, 文 2, 5 から yampi- = 「放っておく」, 文 1, 3 から wangka- = 「話す」。動詞に現れる -mi は現在の「～する, ～しない」(文 1, 2, 4), -ja は過去の「～した, ～しなかった」(文 3, 5) にあたる。

否定文の文 3, 4 と肯定文の文 1, 2, 5 の違いが何か観察すると, 文 3, 4 にのみ共通する kula が否定を表すと分かる(よって文 4 の kulaka は kula-ka と分解できる)。ka が現れる文 1, 2, 4 はどれも「～する, ～しない」の文なので, 現在の文では ka が出ることが分かる。

これまで分かったことをもとに, 構造を整理すると, 以下のようになる。

主語 (kula)-(ka) 動詞語幹 - 時制

主語 -ngku (kula)-(ka) 目的語 動詞語幹 - 時制

Q2, Q3 を解く。文 6 の Marlu は文 2 の目的語の位置に出てくるので, 「カ

ンガルー」。文7の Karntangu は文4の主語 Karnta「女」に -ngku がついた形。よって、

6. Marlu parnka-ja. [カンガルー 走る - 過去]

「カンガルーが走った。」

7. Karnta-ngku kula kirda yampi-ja. [女 - 他動詞主語 否定 父 放っておく - 過去]

「女が父を放っておかなかった。」

8. Marlu-ngku kula-ka kurdu yampi-mi. [カンガルー - 他動詞主語 否定 - 現在 子ども 放っておく - 現在]

▶ マメ知識

世界の言語を横断的に見ると、日本語を相対的に見ることができる。たとえば日本語では主語や目的語を特定するのに「～が」「～を」を付けるが、違う仕組みを持つ言語もある。

主語・目的語の示し方	S が～した	A が P を～した
英語 (S=A=P) ※全部同じ形で示す	The <u>woman</u> ran.	The <u>father</u> left the <u>child</u> .
日本語 (S=A≠P) ※ S と A に「が」、P に「を」をつける	<u>女</u> が走った。	<u>父</u> が子ども <u>を</u> 放っておいた。
ワルピリ語 (S=P≠A) ※ A に -ngku をつける	<u>Karnta</u> parnkaja. <u>女</u> 走った	Kirda <u>ngku</u> kurdu yampi-ja. 父 <u>が</u> 子ども <u>を</u> 放っておいた
ヒンディー語 (S≠A≠P) ※全部形を区別する	<u>Mahilā</u> dauṛā. <u>女</u> 走った	Pitā <u>ne</u> bacce <u>ko</u> chor diyā. 父 <u>が</u> 子ども <u>を</u> 放っておいた

他の言語を知ることで、日本語の隠れた特徴が分かることもある。実は日本語でも「○○+動詞的名詞」はワルピリ語型 (S=P≠A) を見せる: 人だかり (=人がたかる), 肉離れ, 桜吹雪 vs. 人食い (=人を食う, ≠人が食う), 肉付け, 桜狩り。

上級レベル | 解答と解説

サンプル 3 リヴォニア語 | 「神に祈る日曜日」

解答

Q1 1. a 2. c 3. d 4. h 5. f 6. b 7. g 8. j 9. e 10. i

Q2 「本」= rōntōz 「聖なる」= pivā 「葉」= 「新聞」= lē'd

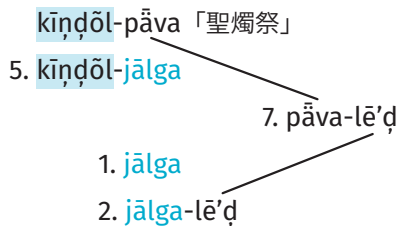
■ 考え方

まずはリヴォニア語を分解して語彙リストを作る：jālga, lē'd, kã'd, kīela, rōntōz, kīṇḁōl, kuodã, pãva, pivā. この9つの語彙の組み合わせで「聖燭祭」や a-j, Q2 の日本語が表現できる。ということは日本語は意識である。リヴォニア語での発想を推測しつつ、語彙の意味を仮定してその組み合わせを試して、つじつまが合うように試行錯誤する。

意味が分かっている kīṇḁōl-pãva 「聖燭祭」や頻度の高い pãva, jālga から仮定していくとやりやすい。

pãva は 7, 8, 10 に 3 回, kīṇḁōl-pãva 「聖燭祭」にも出てくことから、日本語訳でも g, i, j の 3 つに含まれる「日」だと推測できる。

jālga について関連するものも含めて抜き出してみる。以下のように共通部分を近くに配置したり線を引いたりした語彙の地図を作ると考えやすい。



jālga は 1 語単独で出てきてもいる。意味的に 1 語らしいのは「足」「家」。
jālga = 「家」だとするとつじつまが合わないが、「足」だとすると以下のようにつじつまが合う。Q2. 「葉」= 「新聞」= lē'd。

5. kīṇḁōl-jālga [ろうそく - 足] = f. 燭台, ろうそく立て

2. jālga-lē'd [足 - 葉] = c. イワミツバ (問題の注を参照)

kīṇḁōl-pãva [ろうそく - 日] 「聖燭祭」

7. pāva-lē'd [日 - 葉] = g. 日刊新聞

lē'd は「葉」と「新聞」両方の意味を持つようだ。ペラペラな形状が似ているためだろうか。英語でも loose-leaf「ルーズリーフ(直訳: 緩い葉)」(ここでは「綴じられていない用紙」という意味), leaflet「ちらし(直訳: 小さい葉)」, gold leaf「金箔」など, leaf には「ペラペラなもの」という意味がある。日本語でも和綴じの書物に使われている紙は「葉^は」という単位で数える。

pāva = 「日」から, 8. pāva-rōntōz, 10. pivā-pāva が i. 日曜日, j. 日記帳 と対応しそうだ。ここで要素の順番を考えると, A-B は「A の B」のように訳せる (kīñdōl-pāva [ろうそく - 日]「ろうそくの日」→「聖燭祭」) ので, 8. pāva-rōntōz [日 - ?] = j. 日記帳, 10. pivā-pāva [? - 日] = i. 日曜日 だと推測できる。rōntōz はおそらく Q2 に出てくる「本」であり(「日の本」→「日記帳」), 4. kā'd-rōntōz [? - 本] = h. 手引き, ハンドブック。

6. kuodā = 「家」だとすると, 残りの 3. kā'd-kīela, 9. pivā-kuodā-kīela が d. 腕時計, e. 教会の鐘 に対応する。共通部分の kīela = 「鐘, 時計」(かつては時間を鐘で知らせていたのだろう)。4. kā'd-rōntōz [? - 本] = h. 手引き, ハンドブック, 3. kā'd-kīela [? - 鐘] = d. 腕時計 より, kā'd = 「手, 腕」。10. pivā-pāva [? - 日] = i. 日曜日 と 9. pivā-kuodā-kīela [? - 家 - 鐘] = e. 教会の鐘 の共通点 pivā は Q2 に出てくる「聖なる」だろう(「聖なる日」で「日曜日」, 「聖なる家」で「教会」)。これですべてつじつまが合い, Q1 の対応関係と Q2 の訳もすべて分かった。

▶ マメ知識

リヴォニア語は12世紀にはラトビアのリガ湾一帯で話されていたが, 第二次世界大戦直後には約 600 人まで話者が減り, ついに 2013 年には最後の話者が亡くなってしまった。リヴォニア語はラトビア語に影響を及ぼしており, 強勢が第一音節に落ちることや地名などにその痕跡が残っている。

難関レベル | 解答と解説

サンプル 4 アラビア語 | 「ゼロ・シュガー・コーヒー」

解答

- Q 1. kuḥl = c. كحل 2. jabr = a. جبر 3. qily = b. قلي
 4. 'awār = g. عوار 5. qahwa = h. قهوة 6. laymūn = i. ليمون
 7. maḵāzin = j. مخازن 8. šarāb = e. شراب
 9. sukkar = d. سكر 10. šifr = f. صفر

■ 考え方

/a/ という音は全部で8回使われているが、アラビア文字 a-j の中にそんなに何度も使われている文字はない。発音表記とアラビア文字は一対一で対応しているわけではないようだ。

まずは端っこの文字に注目する。同じ音で始まる／終わる単語は端に同じ文字があるはずだ。

3. qily と 5. qahwa は両方とも /q/ で始まっている。2. jabr, 4. 'awār, 9. sukkar, 10. šifr は /r/ が、6. laymūn, 7. maḵāzin は /n/ が共通している。

アラビア文字 a-j の端の文字も見比べる。明らかに同じ文字を含んでいるのは b. قلي, h. قهوة と i. ليمون, j. مخازن の2組だ。どちらかが /q/ で始まるペア (3, 5) で、もう片方が /n/ で終わるペア (6, 7) だろう。

ここで、「アラビア文字は日本語と同じように左から右に書き進める」と仮定しよう。すると、左端に同じ文字がある i. ليمون, j. مخازن は 3. qily と 5. qahwa のどちらかに対応し、同じ文字が右端にある 6. laymūn, 7. maḵāzin は b. قلي, h. قهوة のどちらかに対応することになる。そして、/r/ で終わる単語が4つあるので、右端に同じ文字を持っている単語が4つあるはずだ。しかしそのようなものは見つからない。

先ほどの仮定を棄却し、新しく「アラビア文字は日本語と異なり右から左に書き進める」という仮説を立てる。すると i. ليمون, j. مخازن は 6. laymūn, 7. maḵāzin のどちらか、b. قلي, h. قهوة は 3. qily と 5. qahwa のどちらかに対応することになる。そのほかの単語を見比べると、単語の左端に同じ文字を含む単語が4つ見つかる (a. جبر, d. سكر, f. صفر, g. عوار)。
 青字部分が /r/ を表す文字だと考えるとつじつまが合う。

文字は右から左に書くということと /n, r, q/ を表す文字がわかった。さらに、語中に /r/ の文字があるのは e. شراب しかないので 8. šarāb = e. さらに、/q, r, n/ を含んでいないのはひとつしかないので消去法で 1. kuḥl = c. كحل。

ほかにも何回か使われている文字がある。6. laymūn と 7. makāzin には /m/ が共通している。i. ليمون と j. مخازن には同じ文字が含まれている。これが /m/ を表す文字だろう。m が語中にある 6. laymūn = i. ليمون, m が語頭にある 7. makāzin = j. مخازن。

/k/ という音は 1. kuḥl = c. كحل と 9. sukkar (a, d, f, g のどれか) に共通している。c. كحل の右端の文字は d. سكر にもある。この文字が /k/ で、9. sukkar = d.

/l/ も 1. kuḥl, 3. qily, 6. laymūn の 3 つに使われている。c. كحل = 1. kuḥl, i. ليمون = laymūn の青字部分が /l/ を表しているはずだ。b. قلي, h. قهوة のうち、このような部分を含むのは b なので、b. قلي = 3. qily, 消去法で h. قهوة = 5. qahwa。どうやら、アラビア文字は単語の最後では形が変わるようだ。

残りは 2. jabr, 4. 'awār, 10. ṣifr と a. جبر, f. صفر, g. عوار。このうち、g. عوار の青字部分は e. شراب = 8. šarāb にもある。/r/ のすぐ後にあるので /ā/ を表しているかもしれない。j. مخازن = 7. makāzin にも似たような文字が入っているので間違いなさそうだ。残りの候補のうち /ā/ を含むのは 1 つだけなので 4. 'awār = g.

ちなみに、h. قهوة = qahwa, i. ليمون = laymūn にも同じ文字が含まれている。4 = g とするとこれは /w/ を表すようだ。一方、同じ文字が i では /ū/ を表している。/w, ū/ の音は似ているので同じ文字で表されるようだ。日本語で /wi/ という音を「ウィ」と書くのと似ているかもしれない。

残りは 2. jabr, 10. ṣifr と a. جبر, f. صفر。/b/ という音は e. شراب = 8. šarāb の最後、青字部分に使われている。これに似ているのは a. جبر の青字部分だけで、f. صفر にはこのような文字はない。したがって、a = 2. jabr, f = 10. ṣifr。

▶ マメ知識

ラテン文字 (abc), ギリシャ文字 (αβγ), アラビア文字 (ا ب ج) はすべて共通の祖先フェニキア文字 (𐤀𐤁𐤂; 紀元前 11 世紀～) にさかのぼる。フェニキア文字はもっぱら子音だけを表記する体系で, アラビア文字が短母音 /a, i, u/ を表記しないのはフェニキア文字から受け継いだ特徴である (ただし長母音 /ā, ī, ū/ は表記するようになった)。一方ギリシャ語は母音が語彙の区別に重要な言語だったため, ギリシャ文字はすべての母音を表記するようになった。

ちなみにこの問題の 10 個のアラビア語の単語は, 私たちがよく知っている英単語と語源的関係がある。kuḥl は alcohol (アルコール; 定冠詞 al がついた al = kuḥl の形に由来する), jabr は algebra (代数), qily は alkali (アルカリ), awār は average (平均), qahwa は coffee (コーヒー), laymūn は lemon (レモン), maḵāzin は magazine (雑誌), šarāb は syrup (シロップ), sukkar は sugar (砂糖), ṣifr は zero (ゼロ)。